

《履修上の留意事項》体験学習の際には身なり、服装などに注意すること。  
 学外の方々（模擬患者）が参加するので、失礼のないよう注意すること。  
 授業の性質上、授業風景の写真、動画等の撮影を行うことがある。

《担当者名》《歯学部》

- ・教授 / 長澤 敏行nagasawa@ / 齋藤 隆史t-saito@ / 伊藤 修一shu@ / 越野 寿koshino@ / 越智 守生ochident@ / 舞田 健夫tmaida@ / 疋田 一洋hikita@ / 志茂 剛shimotsu@ / 永易 裕樹nagayasu@ / 照光 真terumitsu@ / 會田 英紀aita@ / 飯田 貴俊tiida@ / 飯嶋 雅弘iijima@ / 齊藤 正人msaitoh@ / 三浦 宏子hmiura@
  - ・准教授 / 門 貴司kado@ / 松田 康裕ymatsuda@ / 豊下 祥史toyosita@ / 広瀬 由紀人yukito@ / 六車 武史muguruma@ / 広瀬 弥奈minaniwa@ / 松岡 紘史mazun@ / 川西 克弥kawanisi@
  - ・講師 / 加藤幸紀satsuki@ / 泉川 昌宣s-izumi@ / 森 真理marichan@ / 仲西 康裕nakanansi@ / 田村 誠tmamura@ / 原田 文也f-harada93@ / 南田 康人minamida@ / 吉本 裕代koseki@ / 中谷 温紀nakatani@ / 中尾 友也y-nakao@ / 倉重 圭史kura@ / 植原 治osamu@ / 村田 幸枝y-murata@
  - ・特任教授 / 古市 保志furuichi@
- 《歯科衛生士専門学校》  
 専任教員 岡橋智恵 / 大山静江 / 千葉利代 / 山形摩紗 / 秋元奈美  
 《教育資源》  
 模擬患者(SP) : 本学担当者および北海道SPフロンティア所属の担当者

【概要】

授業の目的は、現代社会における医療の問題点について考え、新しい医療人をめざして、単なる知識、技術の伝達だけでなく、それらに裏付けされたコミュニケーション能力の育成、態度教育、倫理教育、多職種連携教育を行うことである。3年次の医療コミュニケーションの授業を発展させ、よりリアリティーのある授業を行う。学生がグローバルスタンダードと比較して遜色ない、問題解決能力のある臨床医となることをめざす。

【学修目標】

一般目標

国民のニーズに応える歯科医療者を育成する。

行動目標

- 患者中心の医療コミュニケーションを実践する。
- SOAPに基づく診療録を記載する。
- Bio-Psycho-Socialモデルを理解する。
- 多職種連携を体験し、専門家の立場としてコミュニケーションを行う。

到達目標

各分野で学んできた歯科医療、口腔保健、行動科学の知識を統合し、体験学習を行うことにより、臨床の現場での「パフォーマンス力」を養う。模擬患者（SP）を前にして、医療情報をSOAPに基づいて整理し、行動科学を生かした医療コミュニケーションを行う。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1 ) 2	歯科医療コミュニケーションとは	患者中心の歯科医療を理解する。 POSとSOAPを理解する。 歯科医療に必須な行動科学を理解する。 Bio-Psycho-Socialモデルを理解する。 A-1-2)- 、 A-4-1)- 、 A-4-2)-	長澤敏行 松岡紘史
3 ) 4	模擬患者実習：認知行動療法 歯学部 & 歯科衛生士専門学校	患者中心の歯科医療を実施する。 POSとSOAPを行う。 歯科医療に必須な行動科学を実践する。 F-2-1)-	長澤敏行 松岡紘史 岡橋智恵, 大山静江, 千葉利代, 山形摩紗, 秋元奈美
5 ) 10	1 模擬患者実習：医療面接1 ・急性期および慢性期の医療面接 2 基本的臨床技能：保存 ・医療面接 ・口腔内診査 ・う蝕除去 ・CR修復	1 模擬患者実習：医療面接1 適切な身だしなみ、言葉遣い及び態度で患者に接する。 医療面接における基本的なコミュニケーションを行う。 患者の病歴を聴取する。 患者の身体的・精神的・社会的苦痛に配慮し、問題	1 : 長澤敏行, 門貴司, 加藤幸紀, 清水伸太郎, 佐藤幸平, 杉山のどか / 飯嶋雅弘, 六車武史, 中尾友也, 長崎綾汰, 土田大, イディア・インカ・エラ, 江上佳那 2 : 齋藤隆史, 松田康裕

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
	3 基本的臨床技能：麻酔・抜歯 ・手洗い、抜歯 ・浸潤麻酔	点を抽出、整理する。 患者の不安、不満や表情、行動の変化に適切に対応する。 患者のプライバシーに配慮する。 F-2-1)- 2 基本的臨床技能：保存 適切な身だしなみ、言葉遣い及び態度で患者に接する。 医療面接における基本的なコミュニケーションを行う。 口腔内の状態を記録する。 歯科治療に必要な器材の準備、片付けを行う。 う蝕その他の歯の硬組織疾患の簡単な処置を実施する。 F-2-1)- 、F-2-2)- 、F-3-1)- 、F-3-3)- 3 基本的臨床技能：麻酔・抜歯 手洗いと滅菌手袋を実施する。 歯科治療に必要な器材の準備、片付けを行う。 局所麻酔を実施する。 単純抜歯を実施する。 F-3-1)- 、F-3-5)-	, 泉川昌宣, 永井康彦, 油井知雄/伊藤修一, 森真理, 尾立達治, 小西ゆみ子 3 : 志茂剛, 武田成浩, 淀川慎太郎, 平木大地, 堀江尚弘/永易裕樹, 原田文也, 南田康人, 佐々木智也, 岡田悠之介/照光真, 吉本裕代, 大桶華子, 藤田尚正/中谷温紀, 杉浦一考/飯田貴俊
11 16	4 模擬患者実習：医療面接2 ・初診時医療面接 5 基本的臨床技能：補綴 ・医療面接 ・レストシート形成 ・概形印象 6 基本的臨床技能：補綴 ・医療面接 ・支台歯形成	4 模擬患者実習：医療面接2 適切な身だしなみ、言葉遣い及び態度で患者に接する。 医療面接における基本的なコミュニケーションを行う。 患者の病歴を聴取する。 患者の身体的・精神的・社会的苦痛に配慮し、問題点を抽出、整理する。 患者の不安、不満や表情、行動の変化に適切に対応する。 患者のプライバシーに配慮する。 F-2-1)- 5 基本的臨床技能：補綴 適切な身だしなみ、言葉遣い及び態度で患者に接する。 医療面接における基本的なコミュニケーションを行う。 概形印象採得が実施する。 可撤性義歯による補綴治療の前処置を実施する。 F-2-1)- 、F-3-4)- 6 基本的臨床技能：補綴 適切な身だしなみ、言葉遣い及び態度で患者に接する。 医療面接における基本的なコミュニケーションを行う。 クラウンブリッジによる補綴治療の各基本的操作を実施する。 F-2-1)- 、F-3-4)-	4 : 三浦宏子, 松岡紘史, 植原治, 村田幸枝/齊藤正人, 広瀬弥奈, 倉重圭史, 榊原さや夏, 大友麻衣子, 蓑輪映里佳, 藤田裕介/長澤敏行, 川西克弥, 松木優子 5 : 越野寿, 豊下祥史, 菅悠希, 高田紗理, 横関健治/會田英紀, 尾立光, 煙山修平 6 : 越智守生, 広瀬由紀人, 仲西康裕, 仲西和代, 山中大寛/舞田健夫, 田村誠, 神成克映/足田一洋

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

各講義又は実習終了後にレポートを課す（90点）。

SPを活用した医療面接の際に、ファシリテータが評価を行う（10点）

SPから直接フィードバックを受ける。

【教科書】

「はじめての医療面接」 斎藤 清二 著 医学書院  
共用試験ガイドブック

**【参考書】**

歯科医療面接アートとサイエンス 伊藤孝訓 編 砂書房  
EQ 心の鍛え方 高山 直 著 東洋経済新報社  
話せる医療者 佐伯晴子、日下隼人 著 医学書院  
診療録と重要な医療文書の書き方 山澤いく宏 著 エルゼビアジャパン

**【学修の準備】**

予習として、参考書の次講義にかかわる部分を読んでおく。(80分)  
復習として、疑問点や理解がしにくかったところを、自分で学習する。(80分)

**【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】**

DP2. 「総合的に患者・生活者を支える歯科医療」を提供するために必要な高い倫理観、他者を思いやる豊かな人間性および優れたコミュニケーション能力を身につけている。  
(総合的に患者・生活者をみる姿勢、プロフェッショナリズム、コミュニケーション能力)

**【実務経験】**

歯科治療の指導者全員が歯科医師

**【実務経験を活かした教育内容】**

歯科医師としての実務経験を活かし、コミュニケーション能力の育成、態度教育、倫理教育、多職種連携教育を行っている。